

# オリンピックイヤーを迎えて ブラジル今昔



▶日時／7月23日(土) 13時30分～16時

▶会場／川湯ふるさと館(川湯温泉2丁目3-40)

▶ゲストスピーカー／三木 明さん(美留和在住)

一昨年のメキシコのお話以来、2度目の登場です。中南米生活が長く、ブラジルには5年滞在。普段知ることの少ないブラジルについて、奇想天外なトークがさく裂します。

▶毎回お楽しみの食文化体験は、ブラジルコーヒーとトルタ(ブラジルの軽食)

▶参加費／中学生以上500円・小学生以下300円

▶申し込み／事前に予約が必要です。7月16日(土)までに下記まで申し込みください。

□申し込み・問い合わせ先／黒石☎482-6688・須藤☎482-4824

# 和琴半島が教えてくれること この地でつながる生きモノたち

阿寒国立公園の魅力である「火山」「森」「湖」「アイヌ文化」がギュッと詰まっている和琴半島。散策や釣りを楽しみながら、人間も含めた生き物同士のつながりを感じてみませんか。

▶主催／チームくっしゃろ(屈斜路湖周辺の歴史・文化の収集・発信などを行う地域活動団体です)

▶日時／8月6日(土) 10時～15時(予定) ※荒天時は翌7日に順延します。

▶内容

- 和琴半島ばいかいツアー(10時～正午)／周辺環境の成り立ちや松浦武四郎との関わり、アイヌの自然観をお話ししながら、自然探勝路(約2.5キロ)を歩きます。国の天然記念物・和琴ミンミンゼミや特定外来生物ウチダザリガニについても解説します。【案内人／斎藤敬子(チームくっしゃろ)】※「ばいかい」とは「歩く」という意味のアイヌ語です。
- 釣り体験(キャッチ&リリース)(13時～15時)／道具と餌(魚卵)は主催者側で用意します。初心者大歓迎！経験者がコツを教えてください。季節や昆虫の動きによっても変わる魚の生態は、土地の環境を知ることにもつながります。【案内人／北林勉(屈斜路湖フィッシングクラブ)】※午前か午後、どちらか一方だけの参加も可能です。

▶集合／和琴フィールドハウス

▶定員／20人(先着順) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

▶参加料／一人500円(保険料込み・当日集金します)

▶持ち物／筆記用具、タオル、帽子、昼食、虫よけなど(服や靴の替えなどもあると安心です)

▶申し込み方法／7月31日(日)までに、電話かFacebookのメッセージで、参加を希望される方全員の氏名・性別・住所・電話番号・生年月日をお知らせください。

□申し込み・問い合わせ先／☎090-6876-5393(チームくっしゃろ・斎藤)

<https://www.facebook.com/team.kussharo>



一緒に点字・点訳を学んでみませんか

## 弟子屈 点訳の会 です

館 昭子 会長  
会員・5人



週に一度の活動日は和気あいあいと

点訳で視覚障がい者の方のお手伝い…。そんな活動を行っているのが「弟子屈点訳の会」の皆さんです。会ができたきっかけは、1988年に行われた弟子屈高校解放事業での「初めての点訳講座」講座終了後も、もっと点訳を続けたいと有志により活動が継続されることになりました。以来20年以上、会員の入れ替わりはあるものの、さまざまな形で点訳を行っています。

活動内容は、書籍や広報でしかがなどの点訳。専用の点字器やタイプライ

活動は毎週木曜日の10時～正午、社会老人福祉センターで行っています。点字の魅力について皆さんは「新しい言語を学んでいるようで楽しい」と言います。また、長く続けられたのは会の雰囲気や育兒があれば、無理なく、くてもよかったです。会では現在、新規会員を募集しています。また、会の活動をたくさんの方に知っていただき、もっとたくさんの方の点字を必要とする方の役に立ちたいと考えています。興味のある方は、会長の館さん☎482-3164まで、お問い合わせください。

## アイヌの自然

### 植物の巧みな利用法

アイヌの言語学者・知里真志保博士は、樹木や草本において「おのおの“全体”を表すアイヌ語は存在しない」と言っています。

葉や果実、茎、樹皮、根など部位ごとに、食料や薬、衣料、道具、家材、舟材、狩猟具、呪術…という用途別で最大限の有効活用を見出してきました。アイヌ語名称は、その部位ごとに付いています。

文字を持たなかったアイヌは、抜群の記憶力と的確に言い表す能力に長けていたのです。



川湯EMCと和琴フィールドハウスにはアイヌ語併記の植物ファイルあります



阿寒国立公園の歴史に触れてみませんか

## EMC通信

～川湯の森から～

阿寒湖、摩周湖、屈斜路湖を含めた阿寒国立公園が指定されたのは1934年(昭和9年)12月。日本で2番目に指定されました。日本の端っこにもいる当エリアが、阿蘇や日光などと肩を並べて同年に指定された理由は、当時の関係者の多大な努力があったこと、国内では大変希少な原始的な自然環境が多に残されていたからではないか。

### 阿寒国立公園の昔を振り返る～国立公園名称変更へ向けて～

日本では、国立公園運営に自然保護と観光を両立させる手法が取られています。阿寒国立公園も同様で、同公園に関する古い資料を閲覧すると、観光に関する記述が必ず残されています。国立公園にとって、観光は切っても切り離せない産業なのですね。今までの阿寒国立公園の歩みを振り返ろうと、川湯エコミュージアムセンターの2階では、昔、使用された観光ボスターや、町内の過去の暮らしを感じてもらうための昔の道具を展示しています。これからも豊かな自然環境を守りつつ、魅力ある自然景勝地として、また「阿寒摩周国立公園」名称変更へ向けて、自分たちの住むこの土地を再度、確認する機会をつくってみてはいかがでしょうか。

川湯エコミュージアムセンター(EMC)☎483-4100 URL [http://www6.marimo.or.jp/k\\_emc/](http://www6.marimo.or.jp/k_emc/) 7月は8:00～17:00開館(毎週水曜日休館・7月20日(水)～8月31日(水)は無休)